

# 檄

## 残り9日間、組織内部固めに徹し、勝利に向けて取り組もう！

第23回参議院選挙の選挙戦も折り返し地点を迎え、投票日の7月21日まで残り9日間となった。猛暑が続く中、全国各地でご奮闘いただいている構成組織、地方連合会の仲間の皆さんに心から敬意を表したい。

8日、マスコミ各社は、先週末の世論調査にもとづき、民主党の劣勢と、自民党が大きく議席を伸ばし、自公あわせて過半数議席を獲得する勢いであると報じた。もしそうなれば、すでに衆議院で3分の2を超える議席を持つ自公に対して、参議院でも野党のチェックが機能せず、国会運営は与党の思うがままとなる。

そうなれば、安倍政権は参議院選挙後に先延ばしした労働者保護ルールの改悪を推し進めることとなり、連合のめざす支え合いの社会は後退し、「格差社会」はより一層深刻さを増すことになる。与党による過半数議席獲得は、絶対に阻止しなければならない。

厳しい情勢を踏まえ、今もっとも重要なことは、連合全体の取り組みとして、組合員の支持をしっかりと固めることである。残された9日間、組織の持てる力を発揮して、連合の各種器材や民主党の参議院選挙マニフェスト等を活用しながら組合員とその家族などに対して「働く者、生活者の目線を大事にして、連合の政策を実現できるのは民主党しかない」ことをもう一度強く訴えよう。また、連合がこれまで取り組んできた「期日前投票促進」運動と「投票に行こう！」運動のより一層の強化をはかろう。

構成組織、地方連合会は、各組織内において

- ①比例代表における連合組織内候補者9名と選挙区の連合推薦候補者の個人名を周知・徹底すること
- ②職場において組合員全員による期日前投票を徹底すること
- ③家族揃って投票に行くことを徹底すること
- ④電話、インターネット（電子メールを除く）を使って、友人・知人に連合推薦候補の応援を依頼すること

に全力をあげて取り組むことを要請する。

民主党の支持率低下はようやく下げ止まった。自民党との支持率の差は依然として大きいですが、少しずつ縮まっている。劣勢が報じられている候補者に対しても希望を持って最後まで闘い抜こう。連合の推薦する比例代表組織内候補者9名、選挙区候補者39名の勝利に向けて、各地で活動している仲間の皆さんのより一層の奮闘を期待する。組合員一人ひとりが働く者に差し迫っている危機感を共有し、組織内部を固め、勝利に向けて取り組もう！

2013年7月12日

日本労働組合総連合会

会長 古賀伸明